

8型

取付説明書

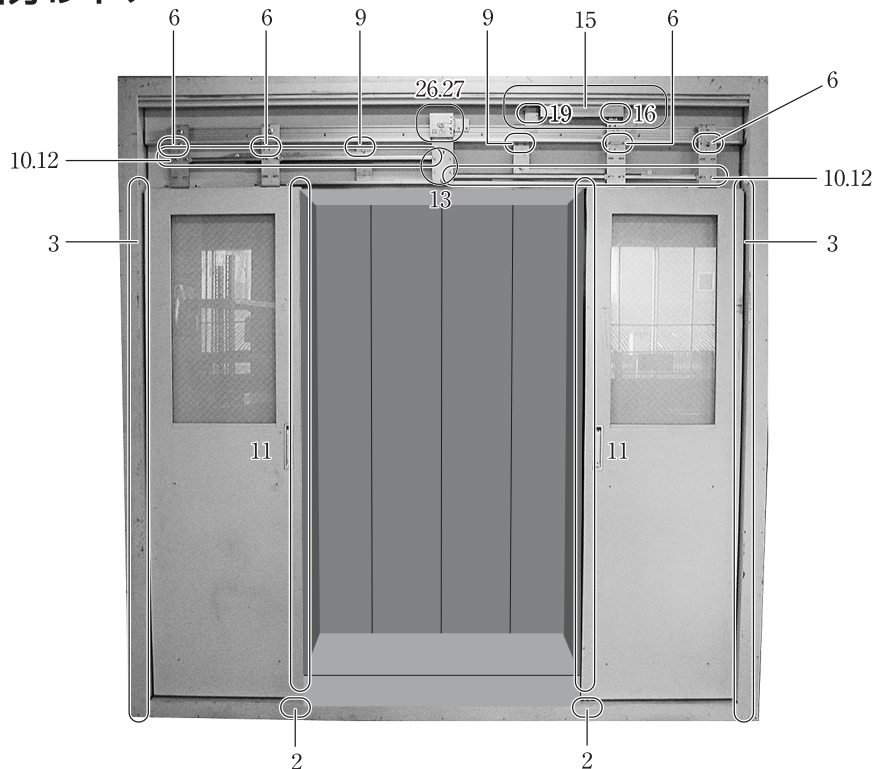
弊社製品をご購入いただき有難うございます。
安全に永くご使用頂く為に、以下の取付要領をよくご理解頂き、正しくお取扱い下さい。
必ず本書の手順に従って取付けて下さい。

この説明書に掲載されている内容は、予告無く変更することがあります。

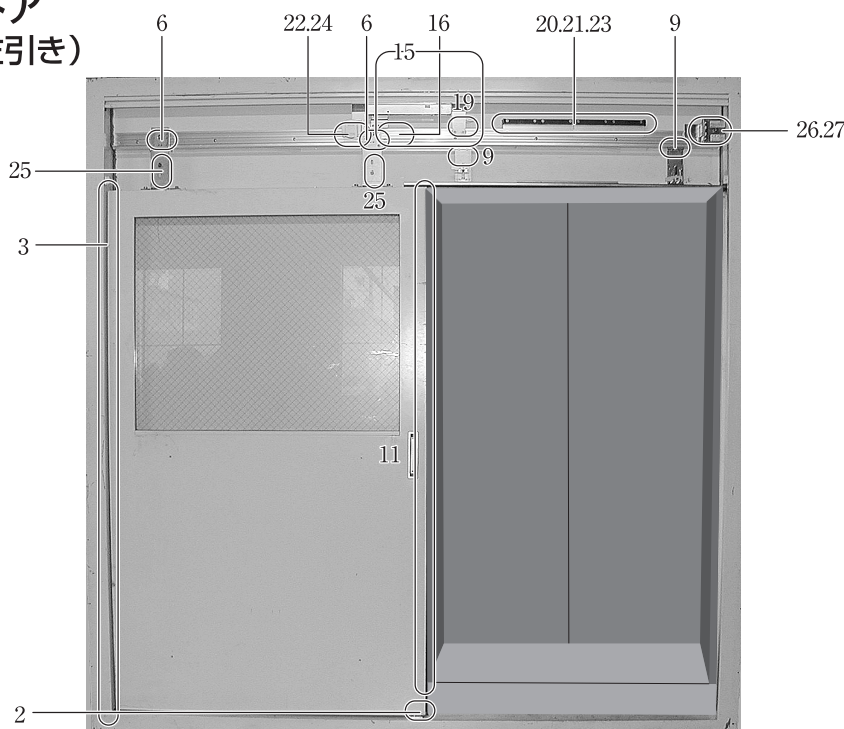
HTMH18-2

数字は本書内の取付順序の番号です。

■連動引分けドア



■片引きドア (本図は左引き)



■個別引分けドア

(取付方法は片引きドアと同じ手順となり最後に戸当り金具を戸先側に取付ける作業が加わります→手順29参照)

国土交通大臣認定取得
CAS-0321 (旧CAS-0037・0041)

当社は旧CAS-0037・0041を新たにCAS-0321として認定取得しました。

■防火設備 危害防止装置の義務づけ
建築基準法施行令 第112条 関係の改正により、新たに防火ドアの閉鎖または作動時の安全性確認が義務づけられました。

改正の概要 (平成17年12月1日 国土交通省告示 第1392号)

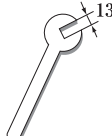
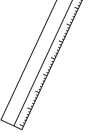
- ①閉鎖作動時の運動エネルギー $\left(\frac{1}{2} MV^2 \right)$ が 10J以下であること。
M: 防火設備の質量 (Kg)
V: 防火設備の閉鎖作動時の速度 (m/s)
②当該防火設備の質量が15kg以下であること。また、質量が15kgを超えるものにあつては、水平方向に閉鎖するもので閉じ力が150N以下であること、もしくは周囲の人と接触した場合に5cm以内で停止すること。



新たに義務づけられる安全性性能

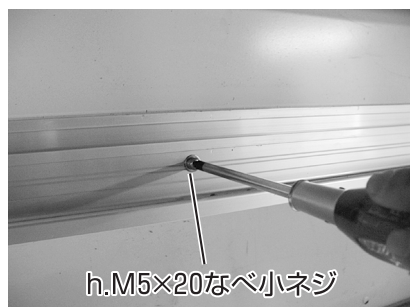
- 運動エネルギーが10J以下であること。
- 閉じ力が150N以下であること。

改正112条を満たす様に取付けて下さい。

必要工具	
⊕ドライバー	六角スパナ対辺13
	
⊖ドライバー	六角棒スパナ対辺4 (引分けのみ使用)
	
六角スパナ対辺8	ハサミ
	
六角スパナ対辺10 (片引きのみ使用)	ものさし
	

1. 枠にレールを取付ける

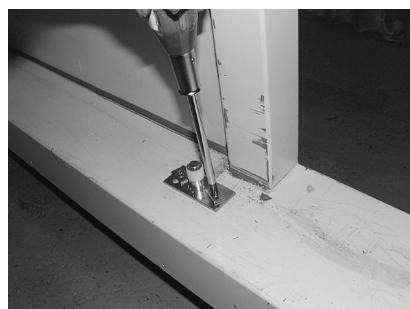
引分け
片引き



(注意)
方立、及び戸袋パネルを設置前に取付けて下さい。

2. 枠の床面にガイドローラーを取付ける

引分け
片引き



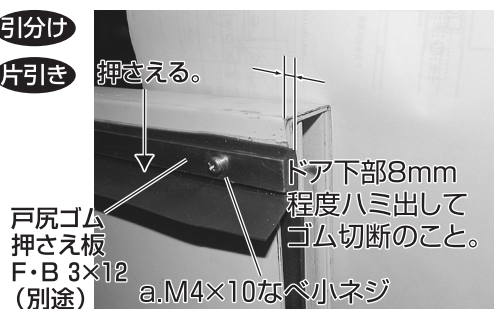
左引き

右引き

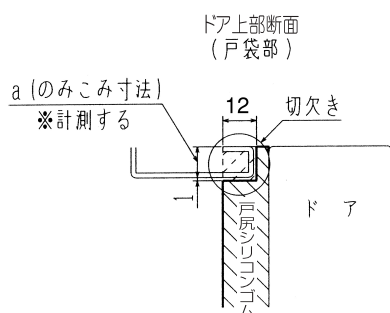
(注意)
方立、及び戸袋パネルを設置前に取付けて下さい。

3. ドアの下部シリコンゴムがついていることを確認し、戸尻シリコンゴムを取付ける。

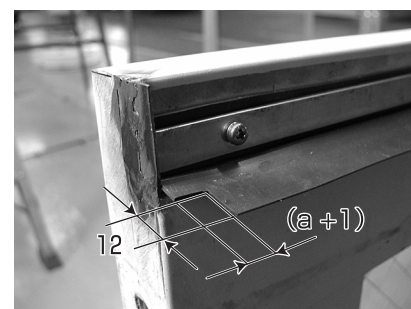
引分け
片引き



- 戸尻シリコンゴムの角とドアの段差を合わせて、戸尻ゴム押さえ板F・B3×12 (別途) で取付ける。
- ゴムにネジ穴はあいていないので、ゴムを突き破って取付ける。



- 戸尻シリコンゴム上部が戸袋内で接触するので、定規等でa寸法を測って (a寸法+1) mm分ゴムを切り欠いて下さい。(右図、左図)



4. ドアにハンガーを取付ける。(注意) 点検口が天井内にある場合は、ドアを吊りこみ位置にもっていきハンガーを取付けて下さい。

引分け
片引き

ハンガーの外れ止めを外す。

(※引き分けのハンガーの4つの内、2つには外れ止めが付いていません。)



- 大臣認定シールが貼ってあるハンガーは戸先側となります。(ただし、引分けは右引きドアの戸先側)
- ハンガーライナーをハンガー1個につき1t×1枚、0.5t×2枚をはさんで、六角ボルトで取付ける。
- ハンガー形状は全て同じです。(ただし、引分けと片引きのハンガーは別形状。本図は引分け用ハンガー)

5. ドアを吊り込む。

引分け

片引き



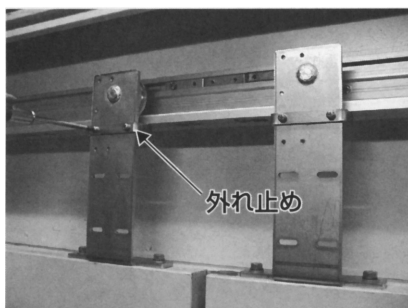
●ドアの下部シリコンゴムが変形しないように注意して下さい。

●全輪がレールに乗っていることを確認して下さい。

6. ハンガーに外れ止めを取付ける。

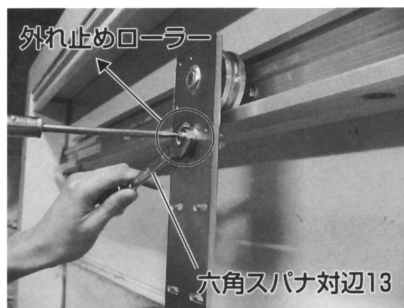
引分け

片引き

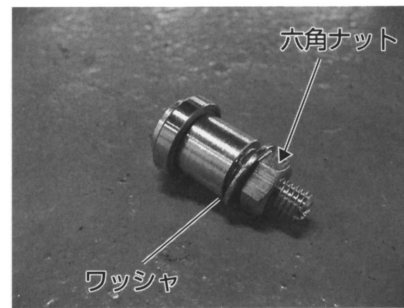


●片引きには戸先、戸尻共、引分けには戸先のハンガーにコの字形の外れ止めを取付ける。

●4.で外したネジ(M5×12なべ小ネジ)を使用する。



※引分けの戸尻側ハンガーには外れ止めローラーを取付けて下さい。



外れ止めローラー

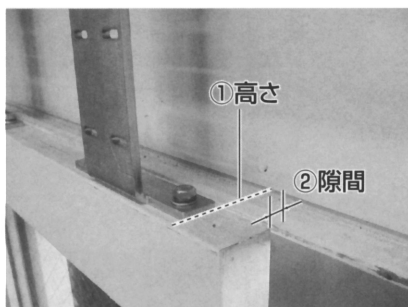
手順

- ①六角ナットとワッシャを外す。
- ②ハンガーの穴に裏側からネジ部を差し込む。
- ③ワッシャを入れて六角ナットを取付ける。
- ④六角スパナ対辺13で押さえながらマイナスドライバーで固定する。

7. ドアの取付調整をする。 ※ここで取付調整を行っておくと、後の作業がラクに行えます。

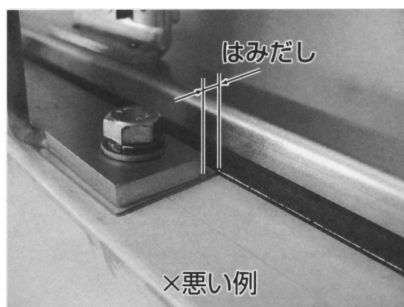
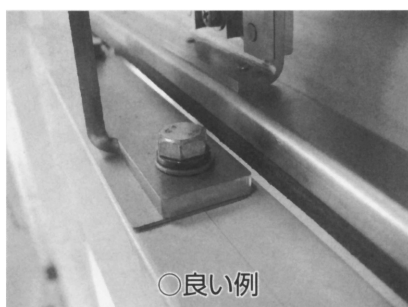
引分け

片引き



①高さ
ドア上面と開口上枠の面をハンガーライナーにて増減させて高さを同じにする。

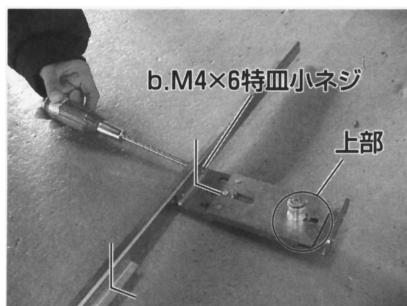
②隙間
六角ボルトをゆるめて、ドアを前後に移動させ、隙間が約5mmになるように調整し、固定する。



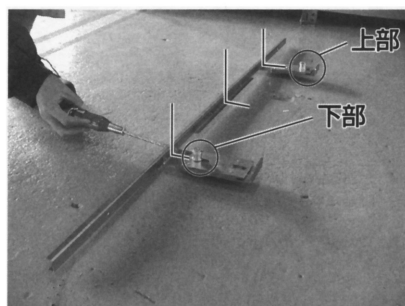
(注意)
ハンガーライナーがハンガーより枠側にはみ出ないように調節して下さい。

8. 遮煙金具を組立てる。

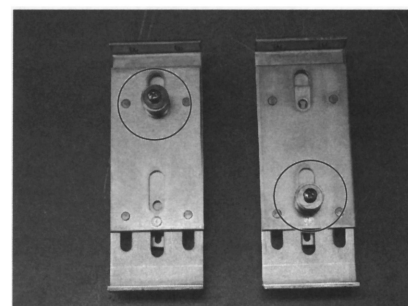
引分け ◎引分け



① L型の方向に合わせて、向かって左側にピンが上部についた図の金物をネジ止めする。



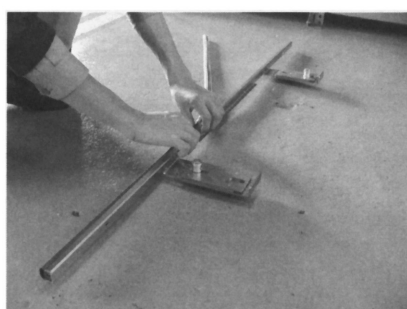
② 同様に向かって右側にピンが下部についた図の金物をネジ止めする。



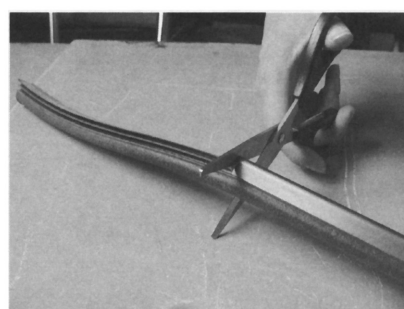
上部 下部



上部
シリコンゴム断面

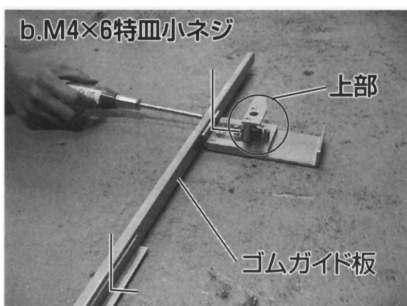


③ ゴムをはめ込む。

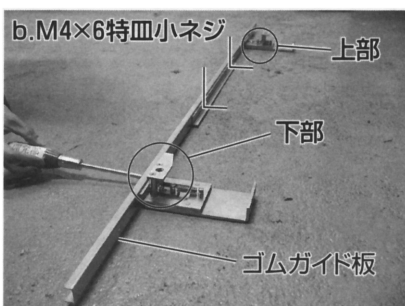


④ 余ったゴムを切断する。

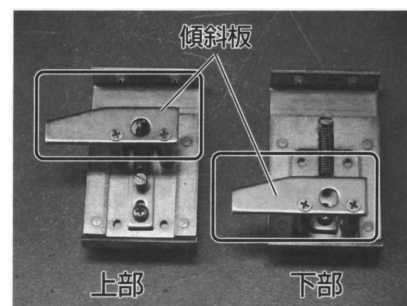
片引き ◎片引き(本図は左引き)



① L型の方向に合わせて、向かって左側に傾斜板が上部についた図の金物をネジ止めする。
(右引きは向かって右側に取付け)



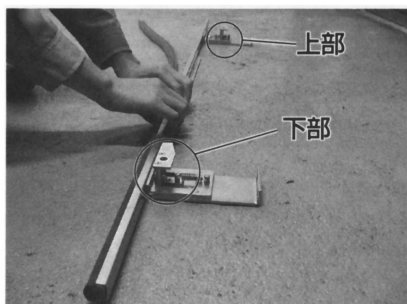
② 同様に向かって右側に傾斜板が下部についた図の金物をネジ止めする。
(右引きは向かって左側に取付け)



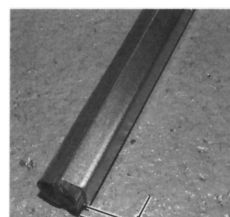
本図は左引き用遮煙板



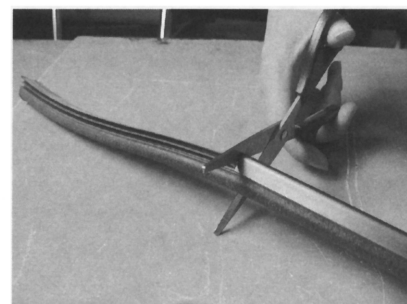
上部
シリコンゴム断面



③ 傾斜板が下部についた方から約2mmゴムをはみ出させてはめ込む。



約2mm

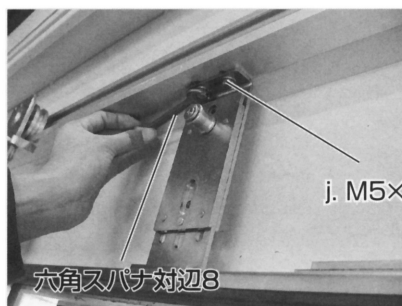
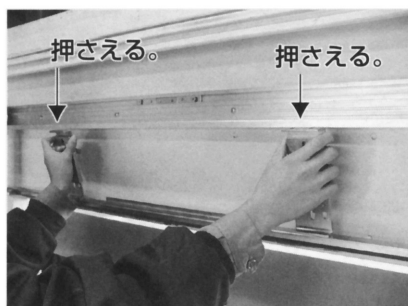


④ 余ったゴムをゴムガイド板の端に合わせて切断する。

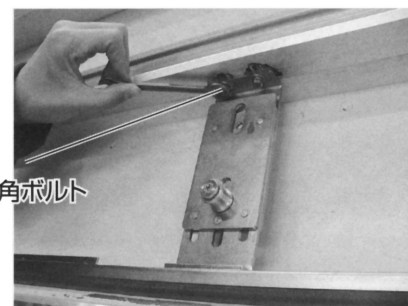
9. 遮煙金具を取付ける。※ドアを開けた状態で遮煙金具を取付けて下さい。

引分け ◎引分け

開口上枠の上縁に押さえながらはめ込み、六角ボルトでレールに固定する。



左側



右側

片引き ◎片引き(本図は左引き)

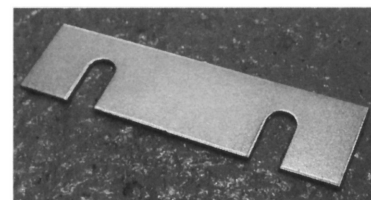
遮煙板ライナーを2枚はさんで六角ボルトでレールに固定する。



戸尻側



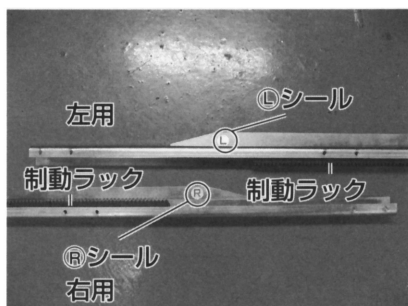
戸先側



遮煙板ライナー

10. 制動ラックを取付ける

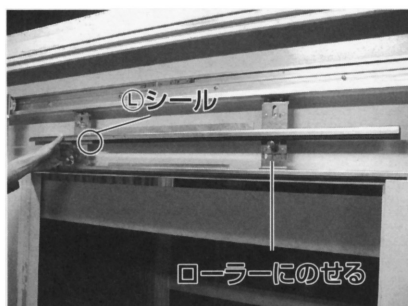
引分け



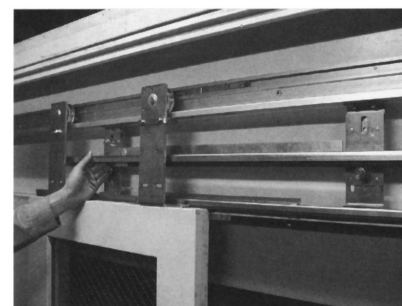
制動ラックは左用と右用があります。

- ・左用①
シールが貼ってあります。
- ・右用②
シールが貼ってあります。

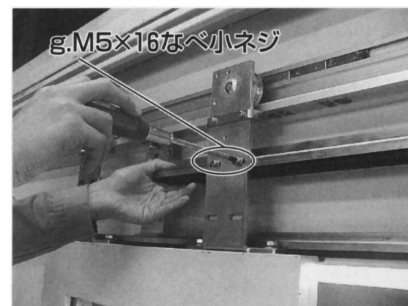
◎左用の取付け



①ドアを開いた状態で、図の位置に① シールを表側にした左用制動ラックをもっていく。



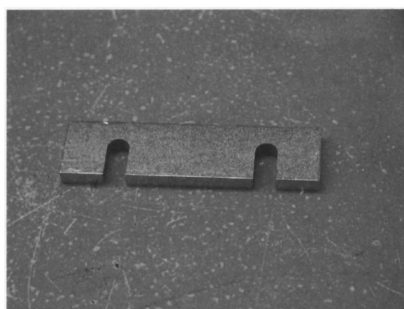
②左引きドアを閉鎖位置まで閉める。



③左引きドアの戸先側ハンガーに制動ラックを図の位置に仮止める。



④戸尻側ハンガーにも図の位置に仮止めする。



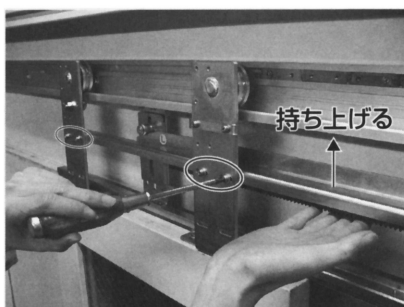
⑤ラック間座(4.5t)



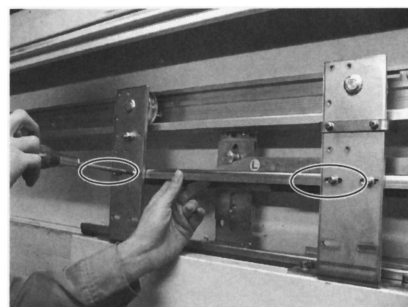
⑥戸先側ハンガーに図の位置に仮止めたネジをゆるめながらラック間座を差し込む。



⑦戸尻側も同様にラック間座を差し込む。



⑧戸先側ハンガーのネジを締め込む。

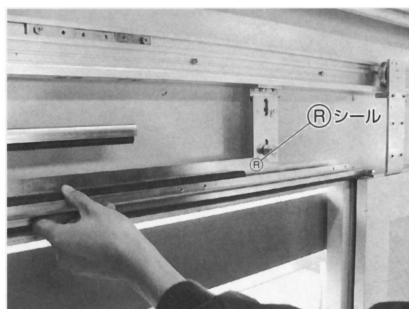


⑨戸尻側ハンガーのネジを締め込む。

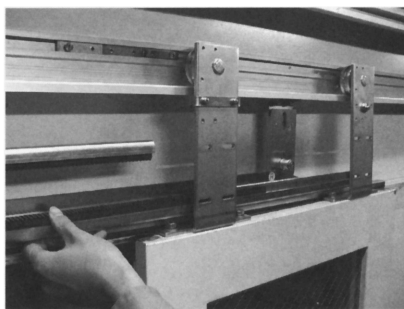
(注意)

制動ラックが長尺である為、垂れ下がってしまうので、制動ラックが水平よりやや上になるように持ち上げながら取付けて下さい。

◎右用の取付け



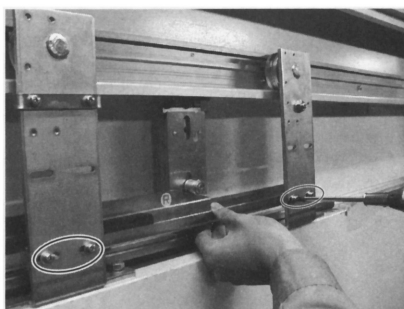
①ドアを開いた状態で、図の位置にR シールを表側にした右用制動ラックをもっていく。



②右引きドアを閉鎖位置まで閉める。

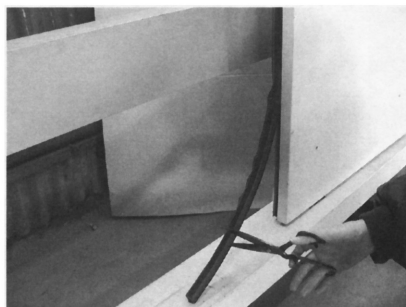


③左用の取付けと同様に図の位置にラック間座を差し込んでネジ止めする。



11. ドアに戸先シリコンゴムをはめ込む。

引分け
片引き

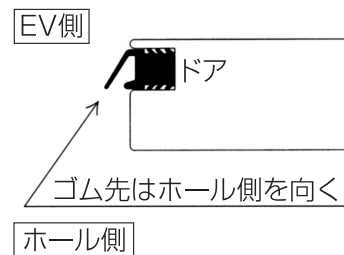


ドア上部から真ん中まではめていき、先に床面の位置あたりで切断しておく。



床面から約1mm隙間をあけて下からはめ込み最後に中央を押し込んで仕上げる。

(注意)
戸先シリコンゴムを
切り過ぎないように
注意して下さい。



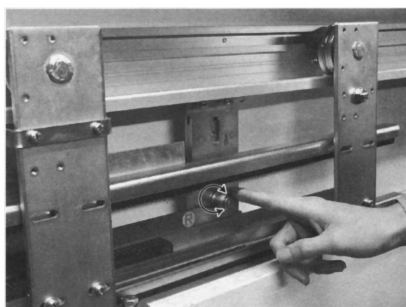
(注意)
ゴムが波打たないように
注意して下さい。

12. 制動ラック位置を調整する。

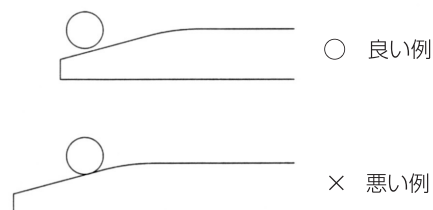
引分け 左右ドアを閉鎖し、図のようにピンを回転させて鉄板の傾斜部が接触しないように取付調整する。



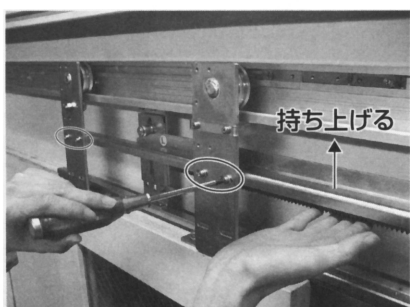
左 側



右 側



接触しているときはネジをゆるめて制動ラックをドア閉鎖位置へスライドさせて固定する。



左 側

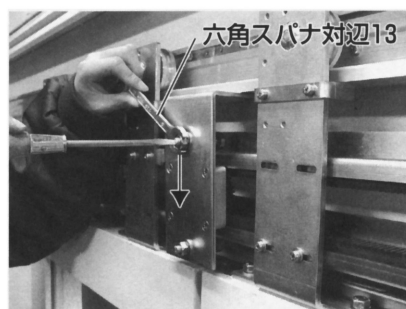
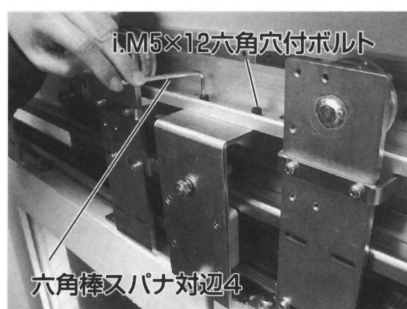


右 側

(注意)
10.と同様に制動ラックを
水平よりやや上に持ち上げ
ながら固定して下さい。

13.制動装置を取付ける。

引分け

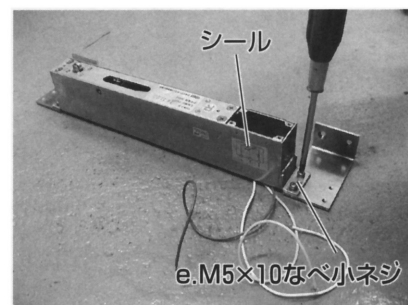
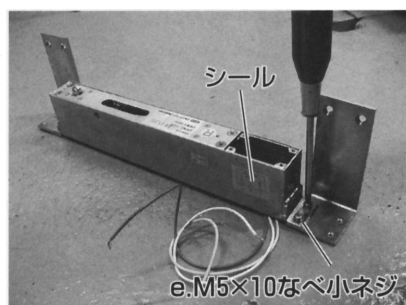
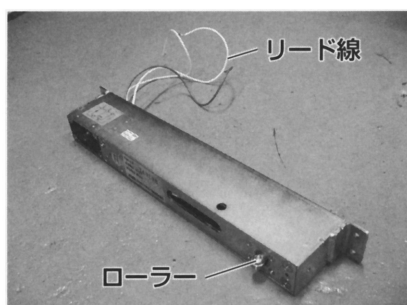


- ①左右ドアを閉鎖させた状態で歯車を上下ラックにかみ合わせてネジ止める。
 - ②ローラーがラックの背中に接触する方向に引き寄せながら固定する。
- (注意) ローラーの引き寄せ過ぎに注意して下さい。ドアがスムーズに動くようにして下さい。

14.スモクローザを組み立てる。

引分け

片引き



- スモクローザのリード線をローラーと反対側の穴から3本引っぱり出す。

Aタイプ

Bタイプ

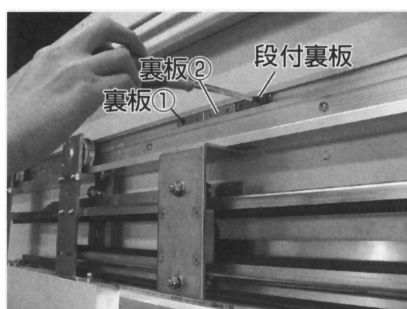
※Aタイプ、BタイプでL型金具形状が異なります。

回路図のシールが正面を向くようにネジ止める。
(本図は右引き、及び引分け用を示す。)

15.スモクローザを取付ける。

引分け ◎引分け

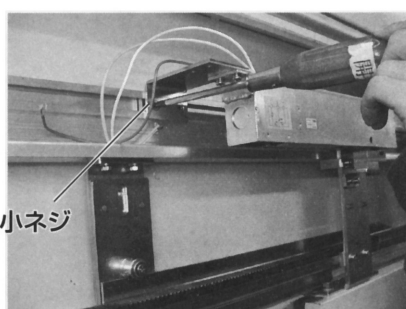
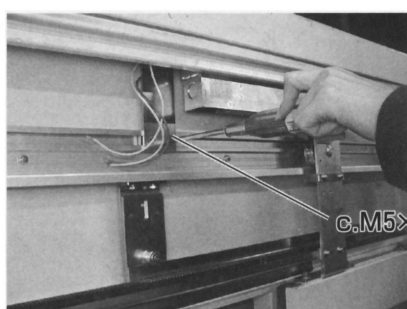
レールにあらかじめ取付けられた段付裏板のネジを外して右へスライドさせ、(外したネジも1つ使用し、) スモクローザの右手側をネジ止める。



Aタイプ

Bタイプ

裏板②をスライドさせて左側をネジで仮止めする。



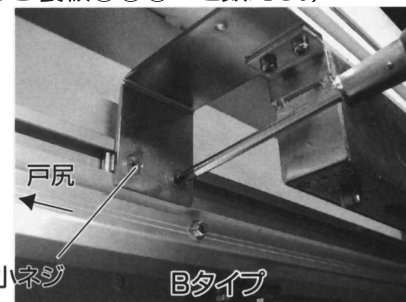
Aタイプ

Bタイプ

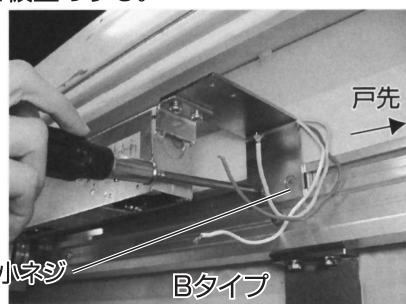
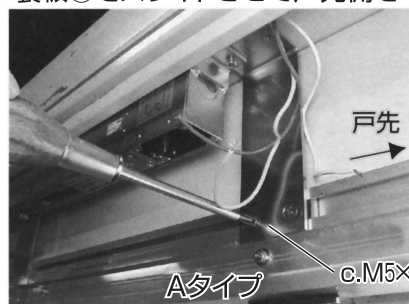
- このネジはスモクローザがスライドする程度に仮止めする。

片引き ◎片引き(本図は左引き)

レールにあらかじめ取付けられた裏側のうち段付裏板のネジを外して、戸尻方向へスライドさせ、(外したネジも1つ使用し。) スモクローザの戸尻側をネジ止めする。(右引きの場合は左端から裏板①②③…と数える。)



裏板⑥をスライドさせて戸先側をネジで仮止めする。

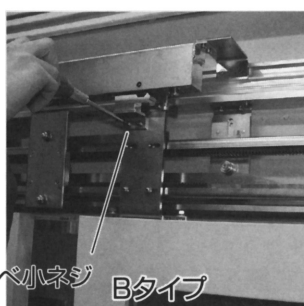
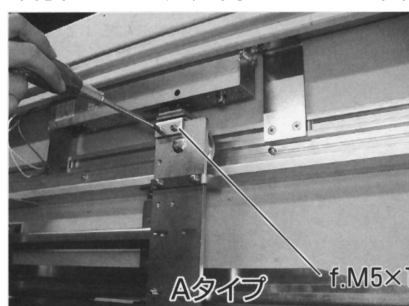


- このネジはスモクローザがスライドする程度に仮止めする。

16.受金具を取付ける。 ※タイプにより取付け位置が違うので注意して下さい。

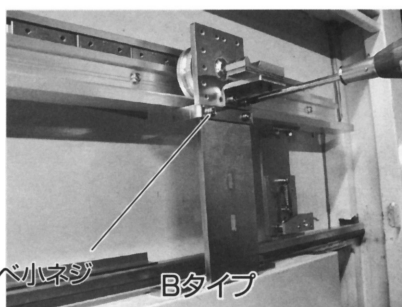
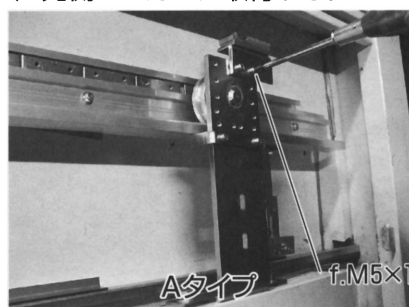
引分け ◎引分け

右引きドアの戸先側ハンガーに取付ける。



引分け ◎片引き(本図は左引き)

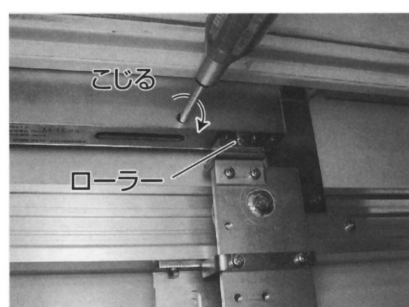
戸先側ハンガーに取付ける。



17.スモクローザのローラーを受金具にはめる。(本図は引分けの Aタイプ)

引分け

片引き



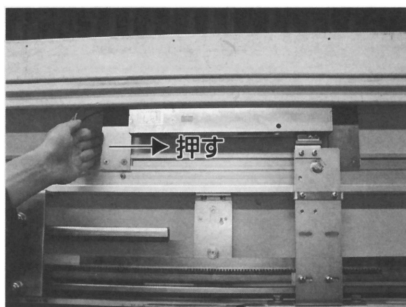
穴にドライバーを突っ込み、下にこじるとローラーが出てきます。



高さが合わないときは六角棒スパナ対辺4を使用して調整ライナーを外す。

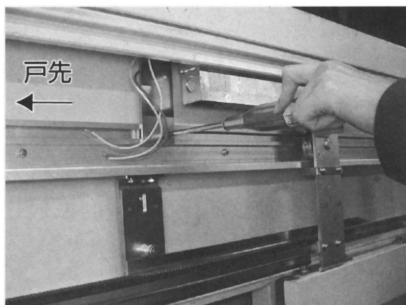
18.スモクローザを押して、戸先シリコンゴムの先端が開口に達するまでドアごと戸袋内に送り込む。

引分け
片引き



19.スモクローザの戸先側のネジを固定し、ドアの開口位置を決定する。

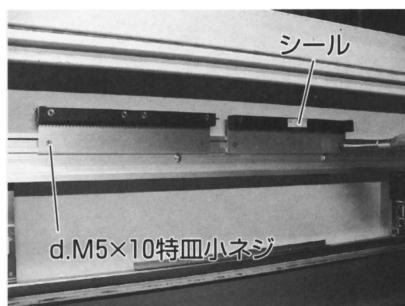
引分け
片引き



- ここでスモクローザを結線する。
(スモクローザ仕様は頁16参照)

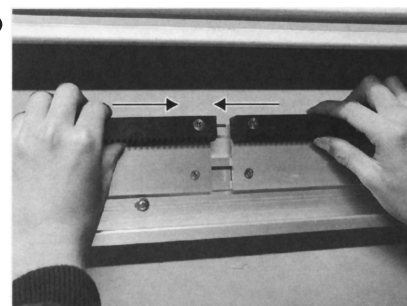
20.制動ラック板を取付ける。

片引き



21.制動ラック板を連結する。

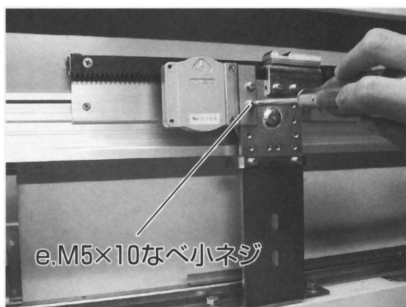
片引き



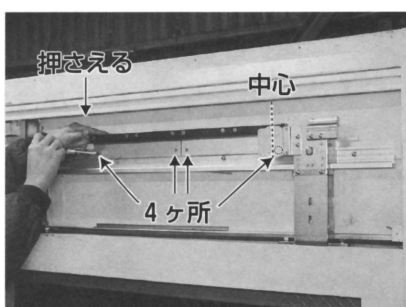
- ①裏板②③④⑤を使用し、ラックがスライドする程度に仮止めする。
- ②制動ラック板はシール付きのほうを左右勝手に関わらず右側に取付ける。

22.制動装置を戸先側ハンガーに仮止めする。(本図は左引き)

片引き



23.ドアを閉じた状態で制動装置の中心よりラックが戸先側に少し出るくらいの位置にスライドさせて、ラックを上から押さえつけながらネジ止めする。(本図は左引き)

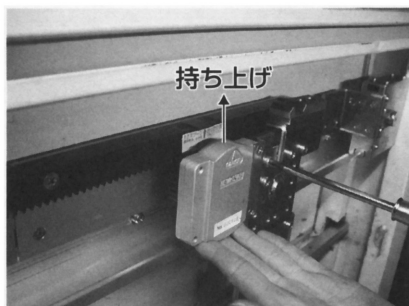


(注意)
ラックとラックの間隙がないようにして、ネジ止めして下さい。

片引き は片引きドア、引分け は引分けドアの作業です。各手順の作業位置は 1 ページをご参照下さい。

24.制動ラック板貼付のすきまゲージに制動装置を移動させ、合わせ位置を合わせた位置で、制動装置を持ち上げながらネジを固定する。(本図は左引き)

片引き

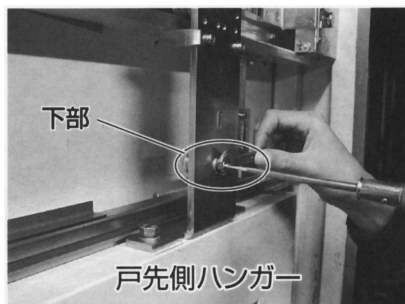


●固定後、すきまゲージを外す。

25.遮煙板ローラーを取付ける。(本図は左引き)

片引き

戸尻側ハンガーは上部に戸先側ハンガーには下部に取付けて下さい。



手順

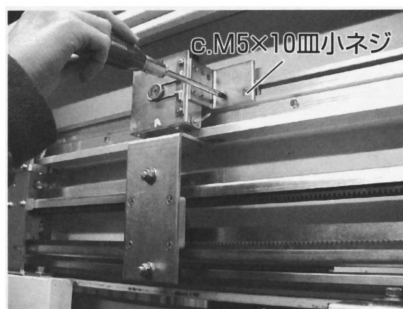
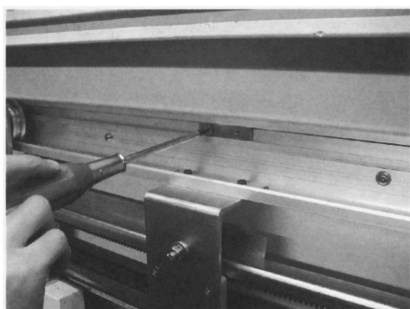
- ①六角ナットとワッシャを外す。
- ②ハンガーの穴に裏側からネジ部を差し込む。
- ③ワッシャを入れて六角ナットを取付ける。
- ④六角スパナ対辺10で押さえながらマイナスドライバーで固定する。

26.駆動装置を取付ける。

引分け

◎引分け

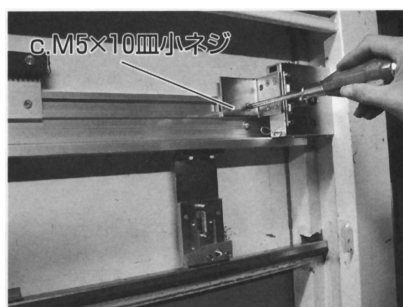
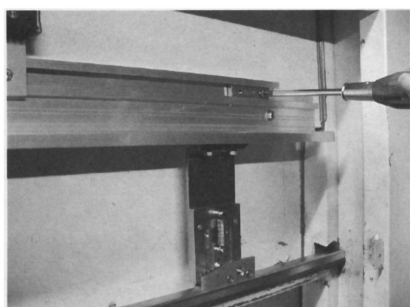
裏板①のネジを外してドアの開口の中心あたりにスライドさせ、駆動装置を取付ける。(外したネジも1つ使用)



片引き

◎片引き(本図は左引き)

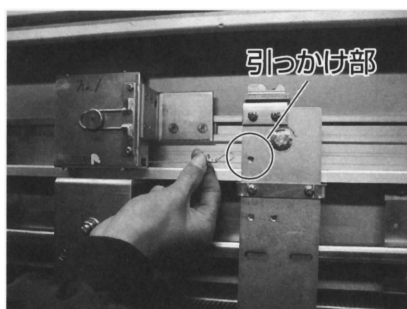
裏板①のネジを外して戸先方向へスライドさせ、駆動装置を取付ける。(外したネジも1つ使用)



片引き は片引きドア、引分け は引分けドアの作業です。各手順の作業位置は 1 ページをご参照下さい。

27. 駆動装置を戸先側ハンガーの引っ掛け部に引っかける。

引分け
片引き



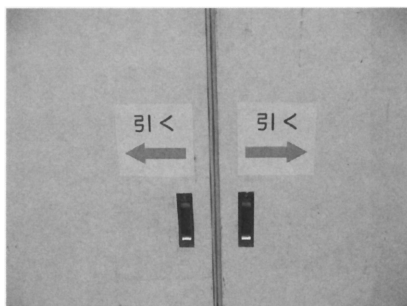
引分け



片引き(本図は左引き)

28. 引くシールを EV側の扉表面に貼る。 ※ホール側は貼らないで下さい。

引分け
片引き



引分け

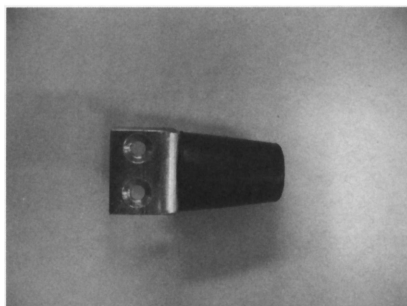


片引き(本図は左引き)

- 個別引分けの場合：ドア1枚の有効開口が750mm未満になる場合には貼らないこと。

29. 戸当たり金具を取付ける。(個別引分けのみ戸先側ハンガーに取付ける。)

個別
引分け



戸当たり金具



付属のネジで止める



駆動装置を取付けてあるネジをゆるめて、止めたい位置に移動させて調整をして下さい。

調整方法

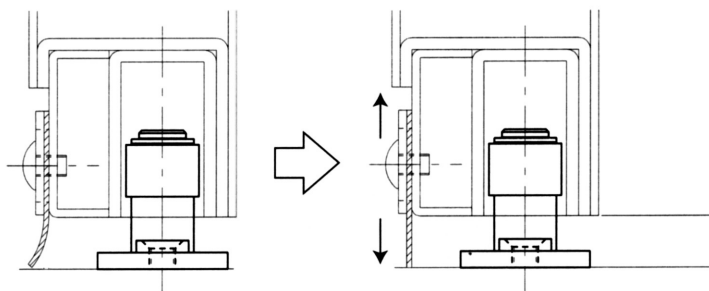
《お願い》 本機は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。本機のパフォーマンスを十分に発揮させるために取付調整を行って下さい。

〔ドアが閉鎖途中で止まる場合〕

A. ドア下部シリコンゴムの出を調整する。

引分け

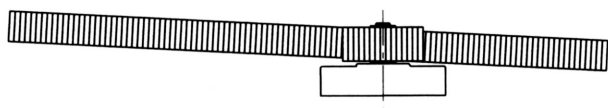
片引き



● ドア下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている場合は調整して下さい。

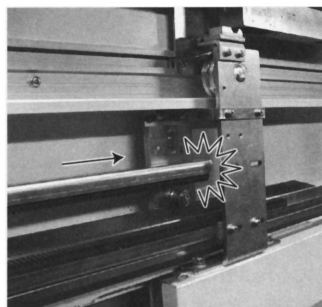
B. 制動ラックのドア見込み方向の位置調整をする。

引分け

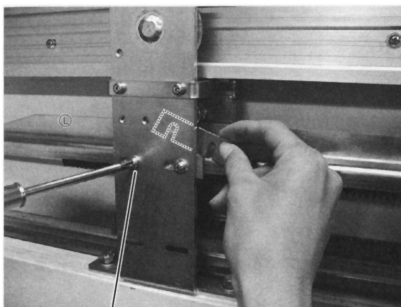


制動ラックを制動装置の歯車に対して平行にしないと回転抵抗が大きくなります。ドアが閉鎖途中で止まる場合、その状態で制動ラックを前後に押してみてもドアが動き出すようであれば、その方向に矯正するために、間座を挟んでネジ止めして下さい。

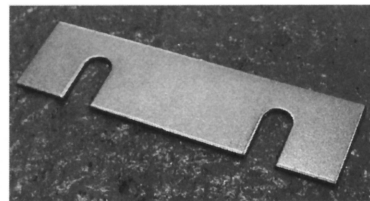
ラック間座をはさむときはネジを M5×20 なべ小ネジに交換して下さい。



ドアを閉じるときに制動ラック先端が反対側のドアのハンガーにぶつかる場合も上記方法で矯正して下さい。



h.M5×20 なべ小ネジ
(ラック間座を使用時に、このネジに交換する。)

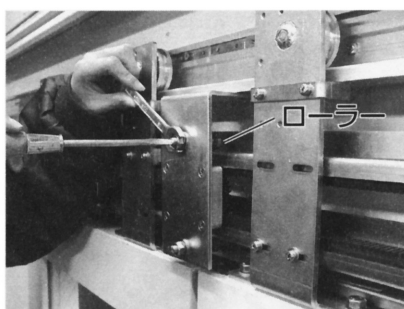


ラック間座 (厚さ1t)

C. 制動装置の上下ローラーを調整する。

引分け

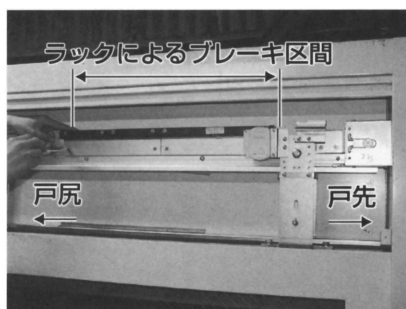
ローラーが制動ラックの背中を圧迫しすぎているとドアが閉鎖途中で止まる場合があります。そのような場合は固定し直して調整して下さい。



(注意)
ある程度の押さえは作動上必要です。
ゆるめ過ぎるとラックと歯車が滑る
恐れがあります。

D. ラックの位置を調整する。(本図は左引き)

片引き

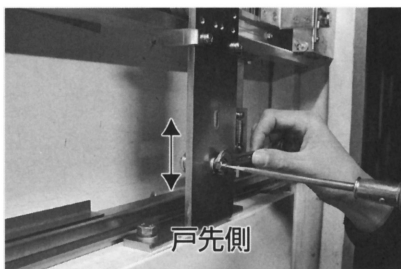
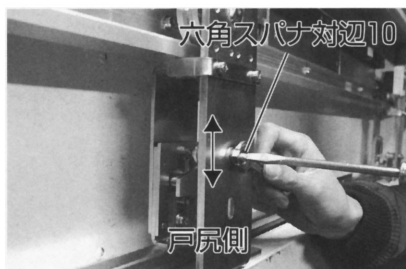


- ドアが閉まり際で止まってしまう場合は閉まり際でブレーキがなくなるように、制動ラックを戸尻方向に適度に移動させて下さい。(閉まる勢いを利用できるようになります。)

(注意)

制動ラック板を位置決めするときは、制動ラック板を上から押さえつけながらネジ止めて下さい。

E. 遮煙板ローラーの高さを調整する。(本図は左引き)



遮煙板ローラーの高さでドア閉鎖時の上部シリコンゴムの密着具合を調整できます。

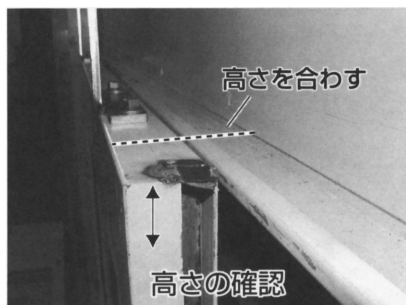
- ドアが閉じきらない場合→遮煙板ローラーを少し上目に取付けてみる。
- ドア閉鎖時に上部シリコンゴムで密着しきれずに隙間ができる。
→遮煙板ローラーを少し下目に取付けてみる。

[ドアが閉鎖状態で上部／下部シリコンゴム部に隙間がある場合]

F. ドア上面と開口上枠の高さと隙間の確認をする。

引分け

片引き



- ドア閉鎖時に上部シリコンゴム部が密着するように高さで隙間の確認をして下さい。



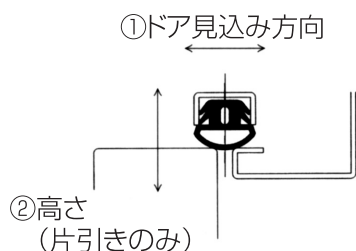
ハンガーライナー

- 高さ合わせはハンガーライナーを増減させて調整して下さい。
- 隙間調整はボルトをゆるめてドアを前後に移動させ、調整後固定して下さい。

G. 遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする。(本図は片引きの左引き)

引分け ドア閉鎖時の上部シリコンゴム部が密着するように以下の調整をして下さい。

片引き



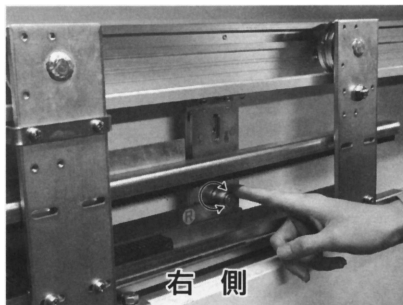
- ① ドア見込み方向はゴムの中心と隙間の中心が合うように調整します。ボルトをゆるめて前後に移動させ、調整後固定して下さい。
- ② 高さはライナーの増減で調整して下さい。



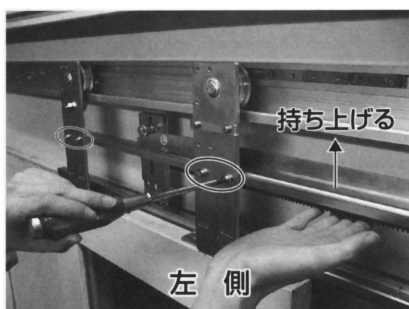
片引き は片引きドア、引分け は引分けドアの作業です。各手順の作業位置は 1 ページをご参照下さい。

H.ローラーを転がり確認する。

引分け ドアを閉じた状態でローラーが鉄板の傾斜に乗り上げていると上部シリコンゴムが最後まで落ちきらずに密閉できません。
左右ドアを閉じた状態でローラーを指で回して、鉄板の傾斜に接触していないか確認して下さい。



接触しているときは図のネジをゆるめてローラーが接触しない位置に制動ラックをスライドさせて下さい。
固定するときは水平よりやや上に持ち上げながらネジ止めて下さい。



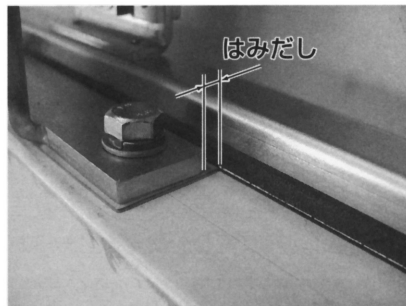
I. 遮煙板ローラーの高さを調整する。(Eと同じ調整方法)

片引き

J. ハンガーライナーがハンガーより枠側にはみ出していないか確認する。

引分け

片引き



ハンガーライナーが枠側にはみ出ていると、遮煙ゴムで密閉するときに段差による隙間ができるため、はみ出さないように取付けて下さい。

K. ドアの下部シリコンゴム部を調整する。(Aと同じ調整方法)

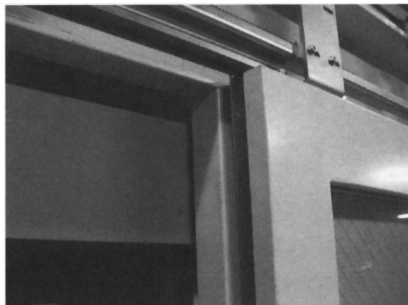
スモクローザ(D-24-1A型)のリセット方法

※スモクローザのストッパーを復帰させ、再びドアを開放保持させたいときは以下のリセット方法を行って下さい。
スモクローザのリセット方法は全て片引きの右引きで説明します。引分けも同じ要領となりますので省略します。

[スモクローザの下に手が入る場合]

●点検口を開ける場合

- ①電装系統をリセットし点検口を開ける。
- ②ドアを解放保持位置まで開く。



- ③スモクローザをリセットする。



復帰板

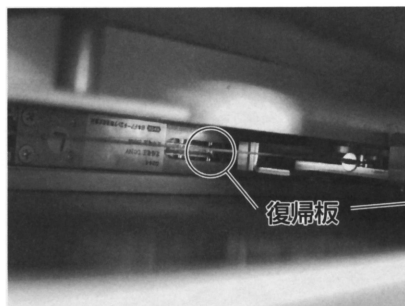
- 丸印の復帰板を棒(例えばドライバー)又は指で上へ押すとローラーが出る。ドアが開放保持していることを確認し、点検口を閉めてリセット終了。

●点検口を開けない場合

- ①電装系統をリセットし、ドアを開放保持位置まで開きそのままの状態での保持をする。



- ②直径10mm×1m程度の丸棒(別途)にてスモークローザの復帰板を押すと復帰します。



復帰板



直径10mm×1mの丸棒(別途)

(点検口の中が暗い場合は懐中電灯で中を照らして作業を行って下さい。)

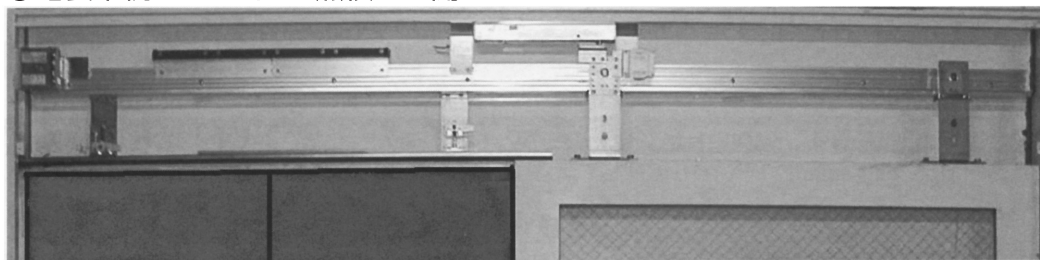
○スモクローザ(8型)仕様

型 式	D-24-1A型
防災評定番号	BCJ-DCS(S-T)-16
動作形態	非常時通電型
定格電圧	DC24V
定格電流	250mA
使用電圧範囲	DC19.2V～DC28.8V
ドア保持力	78.4N
通電時間	100msec
使用温度範囲	-10℃～+50℃
接点容量 ランプ負荷	2A
外部配線	3線式(順次送り可能)
リード線	600V2種ビニール絶縁電線 赤・白・黄 各1本
ボックス仕上	4ヶ所打抜穴 有色クロメートメッキ仕上
復元方式	手動復帰
重 量	1.5kg(ボックス含)
回 路	

〔スモクローザの下に手が入らない場合〕

● 枠端まで点検口が開く場合

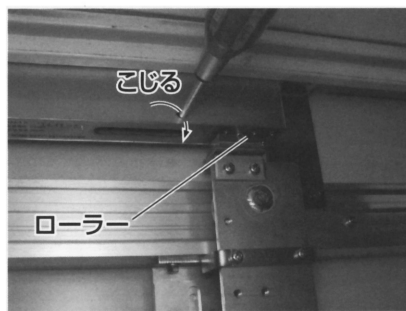
①電装系統をリセットし、点検口を開ける。



②ドアを開放保持位置まで開く。



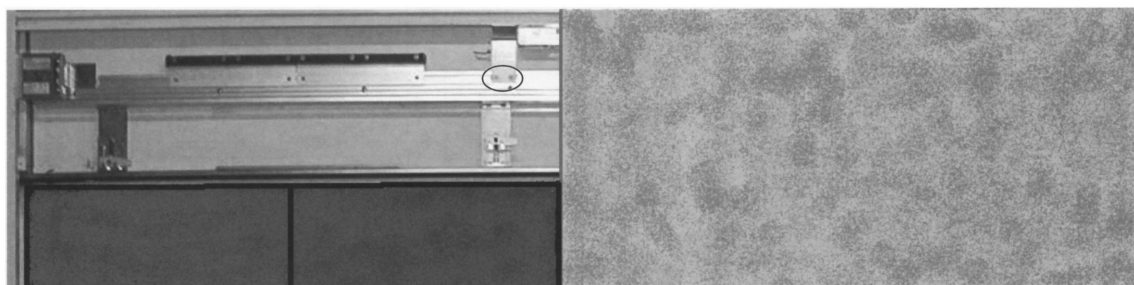
③スモクローザをリセットする。



●穴にドライバーを差し込み、下にこじるとローラーが出る。ドアが開放保持していることを確認し、点検口を閉めてリセット終了。

● 方立までしか点検口が開かない場合

①電装系統をリセットし、点検口を開け○印に止めてあるネジを確認する。



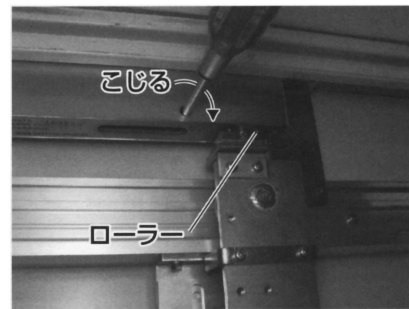
②2個のネジをゆるめる。



③スモクローザを引き出す。



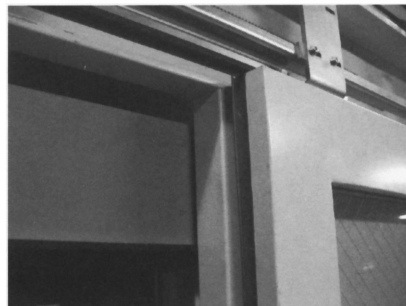
④スモクローザをリセットする。



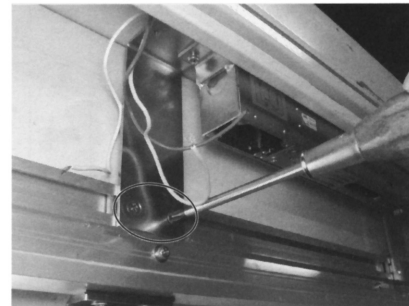
⑤スモクローザを押す。



⑥ドアごと戸袋内に送り込む。



⑦2個のネジを締める。



●戸先側ハンガーに付いてある受金具にローラーを引っ掛け、スモクローザを押す。

●戸先ゴムの先端が開口に達するまで送り込む。

●ドアの開口位置を決定。点検口を閉めてリセット終了。

注意事項等

1. 8型の機能説明とお願い

- 1) この商品は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。
- 2) ドアが閉鎖する床面には物を置かないで下さい。
- 3) 8型は分解、改造しないで下さい。

2. お手入れ方法

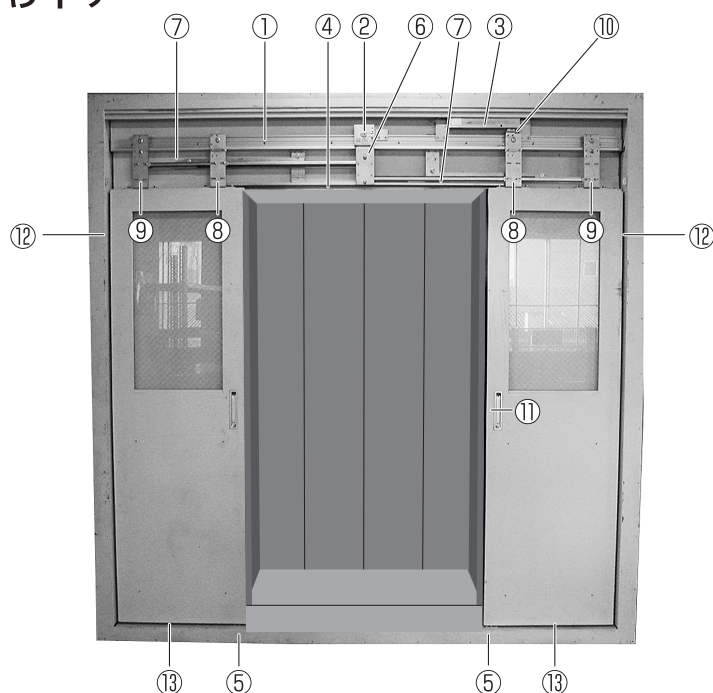
ドアが閉鎖する床面はチリ、ごみ等がない様にして下さい。

3. 異常を感じられた際の対処方法（下記の対処方法を行っても不具合がある場合は、当社にお問い合わせ下さい）

カタログと工事図面のとおりに施工されているか確認して下さい。問題がなければ下記の対処方法を行って下さい。

現 象	考えられる原因	点検箇所	対 処 方 法
ドアが戸袋から全く動かない場合	スモクローザが作動していない	電気仕様の確認	スモクローザ(D-24-1A型)仕様を確認(詳細は頁16参照)
	駆動装置がハンガーに接続されていない	点検口内	駆動装置のワイヤーをハンガーに引掛ける
ドアが完全に閉まらない場合	下部シリコンゴムが床の異物に接触している	床 面	異物を除去する
	下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている		ドアの下部シリコンゴムを調整する(詳細は頁13-A参照)
	(引分けのみ)ラックが制動装置の歯車に対して平行になっていない	点検口内	ラック間座(厚さ1t)を使用して平行にする(詳細は頁13-B参照)
	(引分けのみ)ローラーがラックの背中を圧迫しすぎている		ローラーの圧迫を緩める(詳細は頁13-C参照)
	(片引きのみ)制動が効き過ぎている		制動ラック板の位置を調整する(詳細は頁14-D参照)
	(片引きのみ)上部シリコンゴムの押えが強い		遮煙板ローラーの高さを調整する(詳細は頁14-E参照)
ドアが閉鎖状態で上部シリコンゴム部に隙間がある場合	ドアと枠の歪み又は取付位置が合っていない	点検口内	ドア上面及び開口上枠の高さと隙間の調整をする(詳細は頁14-F参照)
	ハンガーライナーがハンガーより枠側にはみ出ている		遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする(詳細は頁14-G参照)
	(引分けのみ)ローラー転がりの確認		はみ出さないように取付ける(詳細は頁15-J参照)
	(片引きのみ)ローラーが高い位置に取付けてある		鉄板の傾斜に接触しない様にする(詳細は頁15-H参照)
ドアが閉鎖状態で下部シリコンゴム部に隙間がある場合	上部シリコンゴム部の調整による隙間がでる	床 面	遮煙板ローラーの高さを調整する(詳細は頁14-E参照)
電気系統をリセットしたのにドアが戸袋に納まらない	スモクローザがリセットされていない	点検口内	ドアの下部シリコンゴムを調整する(詳細は頁13-A参照)
			スモクローザをリセットする(詳細は頁16～17参照)

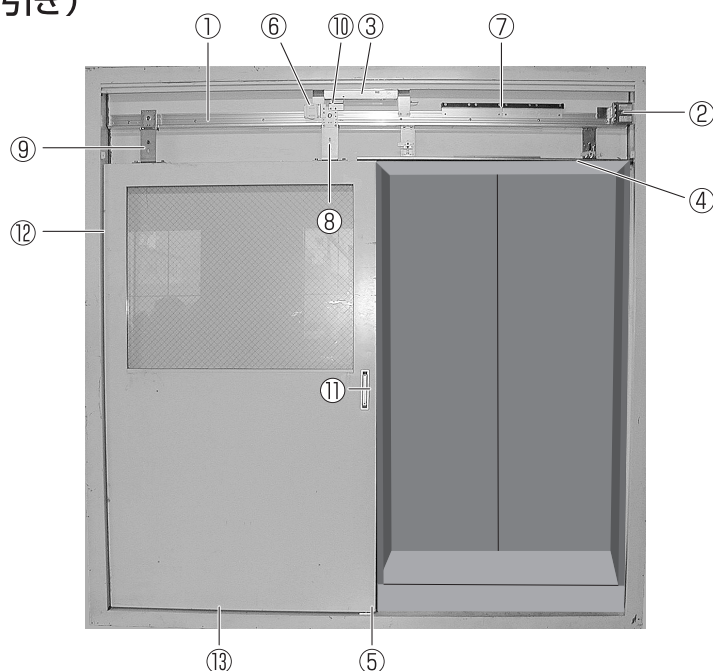
■連動引分けドア



部品名称

- ①レール
- ②駆動装置
- ③スモクローザ (D-24-1A型)
- ④上部シリコンゴム及び遮煙金具
- ⑤ガイドローラー
- ⑥制動装置
- ⑦制動ラック板
- ⑧戸先側ハンガー (R・L)
- ⑨戸尻側ハンガー (R・L)
- ⑩受金具
- ⑪戸先シリコンゴム
- ⑫戸尻シリコンゴム
- ⑬下部シリコンゴム

■片引きドア (本図は左引き)



この説明書に掲載されている内容は、予告無く変更することがあります。

NEW★STAR 日本ドアアーチエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL (03) 3871-1411 (代)
(ニュースター東京ビル)

大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL (06) 6758-1251 (代)

札幌支店 / TEL (011) 851-8255～6

名古屋支店 / TEL (052) 981-7531～2

仙台営業所 / TEL (022) 284-7501

広島営業所 / TEL (082) 877-1611～2

北陸支店 / TEL (076) 243-2120 (代)

福岡支店 / TEL (092) 271-5491 (代)

静岡営業所 / TEL (054) 238-2751

高松営業所 / TEL (087) 843-1212～3